

こうほう



Kouhou
Sarabetsu

らべつ

2010

10

No. 577

交通事故ゼロの願い



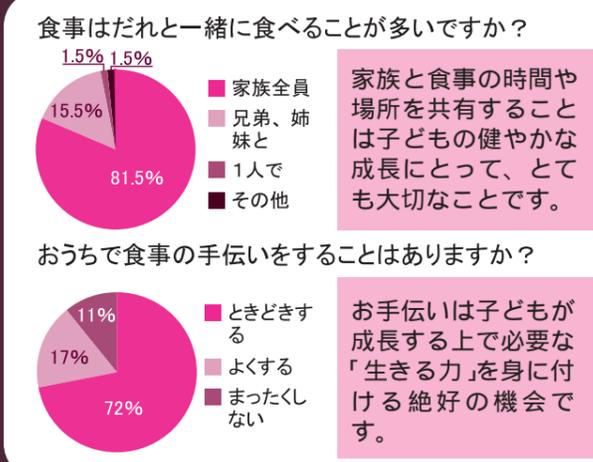
特集

平成21年度決算報告

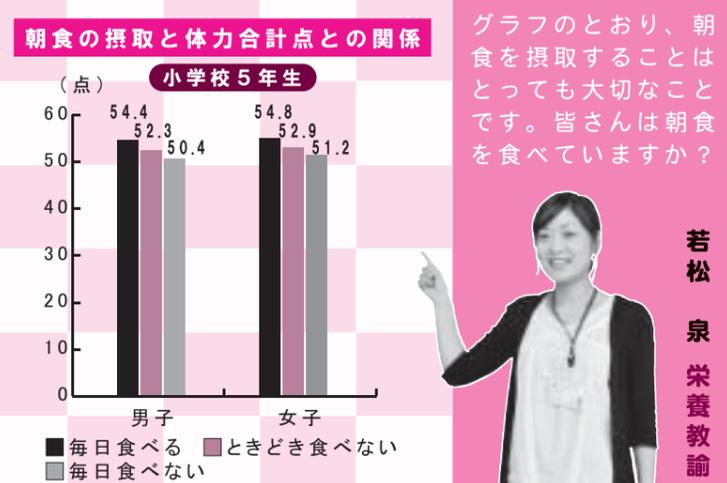
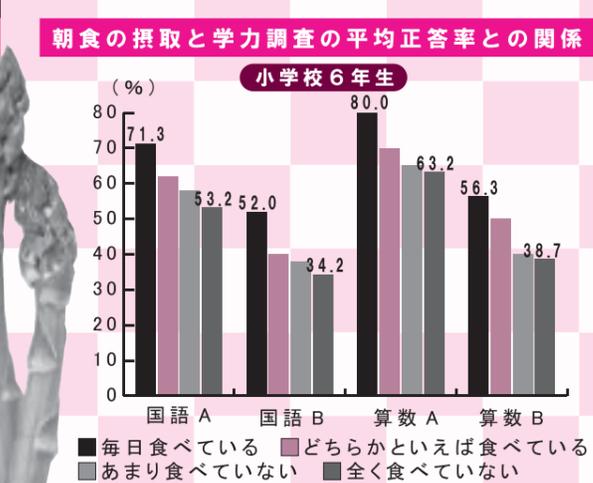
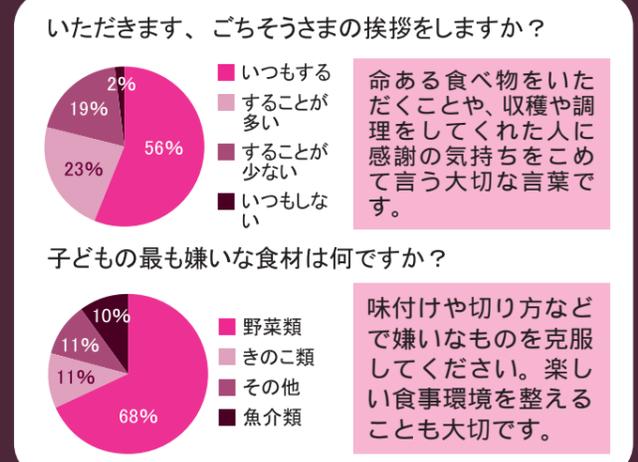
更別村学校給食 食育推進検討委員会からのお知らせ

今年度、更別村では文部科学省が実施する「栄養教諭を中心とした食育推進事業」の選定を受け、検討委員会（西山猛委員長）を設置しました。検討委員会では、家庭における食生活の実態を把握し、より良い食育の推進を図り、地場産物の利活用促進を目的としアンケート調査を行いました。更別小学校の児童と保護者を対象に7月7日までに回収し、8月30日開催の第2回検討委員会において集計結果の分析などが行われました。家庭での食育に対する取り組みの参考に、アンケート調査の結果についていくつか紹介します。

更別小学校児童アンケート



更別小学校保護者アンケート



グラフのとおり、朝食を摂取することはとても大切なことです。皆さんは朝食を食べていますか？

若松 泉 栄養教諭

料理教室と食育講演会を開催

検討委員会では、地元産物を活用した料理教室と地域食材の普及も含めた食の大切さなどをテーマとした食育講演会に又キタ・ロフィスド代表の貫田桂一シェフを講師としてお招きし、11月6日(土)開催します。詳しい内容は、広報誌に折り込みした案内チラシをご覧ください。



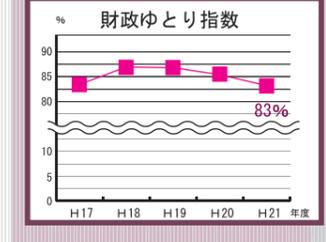
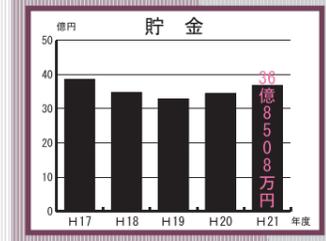
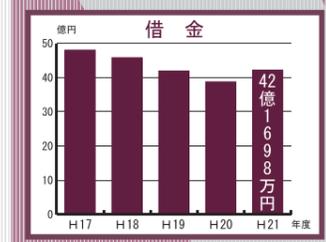
プロフィール
北海道地域づくりアドバイザー、北海道食育コーディネーター、「地産地消のしずく」(全国47名など、国や道から多くの選定委嘱を受け幅広く活躍されています。著書「北の料理人」(平成12年度年間ベストセラー)

貫田 桂一シェフ

特別会計歳入歳出決算額

歳入 14億3,368万円
歳出 14億1,106万円

区分	歳入A	歳出B	A-B
	前年度増減a	前年度増減b	a-b
国民健康保険 (事業勘定)	5億934万円 +2,607万円	4億9,053万円 +1,992万円	+1,881万円 +615万円
国民健康保険 (診療施設勘定)	3億7,775万円 +989万円	3億7,765万円 +990万円	+10万円 1万円
簡易水道事業	4,707万円 172万円	4,704万円 169万円	+3万円 3万円
老人保健医療事業	38万円 2,577万円	17万円 2,590万円	+21万円 +13万円
公共下水道事業	2億265万円 +507万円	2億260万円 +507万円	+5万円 ±0円
介護保険事業 (事業勘定)	2億6,080万円 +1,009万円	2億5,746万円 +1,243万円	+334万円 234万円
介護保険事業 (サービス事業勘定)	131万円 +21万円	131万円 +21万円	±0円 ±0円
後期高齢者医療事業	3,438万円 +204万円	3,430万円 +198万円	+8万円 +6万円
合計	14億3,368万円 +2,588万円	14億1,106万円 +2,192万円	+2,262万円 +396万円



減少傾向にあります。平成21年度は過疎対策事業(国営事業・農家の家改築事業など)が5億8,730万円増えたことなどから、前年度と比較して3億4,523万円増加しています。

平成24年度に約6億円ある国営かんがい排水事業の償還金に備え「農業振興基金」に1億5,100万円積み増したことから前年度と比較して2億4,419万円増加しています。

人件費などの義務的経費に村税などの經常的な収入がどの程度充てられているかを診て、財政の弾力性を図る指標「75%以上」と、財政に「ゆとり」がないと言われています。

村債残高
積立金残高
経常収支比率

※村債・積立金残高・経常収支比率は特別会計分が含まれていません。

村の健全化判断比率などを公表します。

財政状況は「健全段階」と評価

村の平成21年度の「財政健全化判断比率」および公営企業会計の資金不足比率を公表します。

財政状況を基に算出した数値を指標に照らし合わせることで健全段階、早期健全化段階、財政再生段階の3区分に分けられ、早期健全化段階、財政再生段階にあたる時は、財政健全化のためには、財政健全化の計画を定めなければなりません。

村の平成21年度決算は、すべての基準を下回る比率が算出され、健全段階と判定されました。

用語説明

実質赤字比率
一般会計などを対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率。

連結実質赤字比率
全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率。

実質公債比率
一般会計などが負担する元利償還金などの標準財政規模に対する比率。

将来負担比率
地方債の残高をはじめ一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率。

資金不足比率
公営企業会計の資金不足額を標準財政規模に対する比率。

普通交付税や地方税など、自治体が通常の行政サービスを提供するために必要な一般財源をどの程度もっているかを表す指標。

財政健全化判断指標の各比率

指標名	判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	- 1	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	- 1	20.0%	40.0%
実質公債費比率	10.3%	25.0%	35.0%
将来負担比率	- 2	350.0%	

1 算出数値が赤字ではなく公表数値がないため「-」を記載しています。
2 借金返済の財源が将来負担すべき額を上回っており、公表すべき数値がないため「-」を記載しています。

公営企業会計の資金不足比率

会計名	判断比率	経営健全化基準
簡易水道事業特別会計	-	20.0%
公共下水道事業特別会計	-	20.0%

算出数値が赤字ではなく公表数値がないため「-」を記載しています。

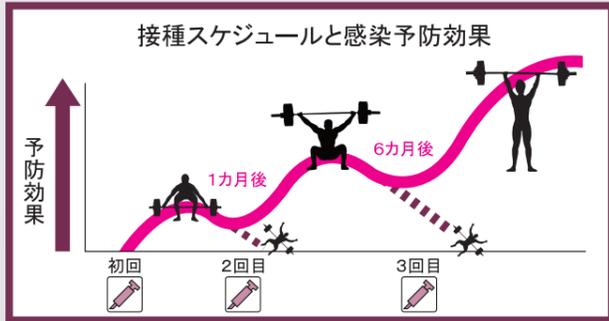
問い合わせ 役場総務課財務担当 ☎52-2111

全額助成します

予防できるがん



十分な抗体をつくるために、3回の接種が必要です。



しなかつた場合と比べると可能性はかなり低いものの、ワクチンを接種していても子宮頸がんにかかる可能性はあります。子宮頸がんを完全に防ぐためには、子宮頸がんワクチンの接種だけでなく、子宮頸がん検診を受けて前がん病変のうちに見つけることが大切です。20歳を過ぎたらワクチン接種後も、定期的に子宮頸がん検診を受けるようにしてください。

村では子宮頸がん予防ワクチンの接種を受けた方の経済的負担を軽減し、予防接種を受けやすい環境を整備するため、子宮頸がん予防ワクチンの接種を受けた方に対して予防接種費用の全額を助成します。

子宮頸がんってどんな病気？

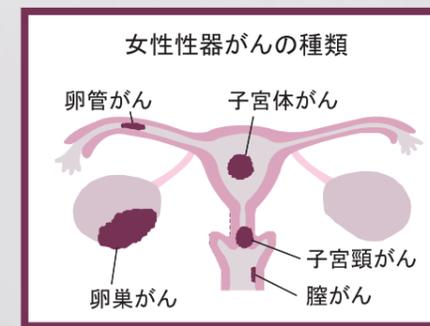
子宮頸がんは、子宮頸部(子宮の入り口付近)にできるがんで、20歳から30歳代で急増し、日本では年間15000人の女性が発症していると報告されています。子宮頸がんは、発がん性HPV(ヒトパピローマウイルス)というウイルスの感染で引き起こされ、がんになる過程がほぼ解明されており、現在では予防できるがんの一つです。



発がん性HPVは、特別な人だけが感染するのではなく、多くの女性が一生のうち

子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成事業が始まります

に一度は感染するといわれています。多くの場合、感染してもウイルスは自然に排除されることがあります。子宮頸がんになった場合、初期の段階では自覚症状がほとんどないためしばしば発見が遅れてしまい子宮や子宮のまわりの臓器を摘出しなければなくなることがあります。



子宮頸がんの予防ワクチン

ワクチンとは、病気の原因となる細菌やウイルスなどをあらかじめ接種しておき、病気を防ぐ方法です。子宮頸がん予防ワクチンは、発がん性HPVの中でも特に子宮頸がんの原因として最も多く報告されているHPV16型と18型の感染を防ぐワクチンです。

ワクチンを接種することで発がん性HPVの感染から長期にわたって体を守ることが可能です。しかしこのワクチンは、すでに感染しているHPVを排除したり、子宮頸部の前がん病変(がんになる前の異常な細胞)やがん細胞を治す効果はなく、あくまで接種後のHPV感染を防ぐものです。

子宮頸がんの予防ワクチン

子宮頸がん予防ワクチンは、肩に近い腕の筋肉に注射します。1から2回の接種で十分な抗体ができません。半年の間に3回の接種が必要です。予防ワクチンの効果は現時点で成人女性の一番長い人で6・4年間まで続くことが確認されています。しかし、ワクチンの効果がそれぞれどのくらい続くのか、追加接種が必要かどうかについては、まだはっきりと分かっていません。

予防ワクチンを接種することでHPV16型と18型の感染を防ぐことができますが、すべての発がん性HPVの感染を防ぐことができるわけではありません。ワクチンを接種

5 接種場所

更別村国民健康保険診療所で接種を受けてください。

6 接種日時

平成22年10月14日以降、毎週木曜日の午後4時から午後5時までです。接種日の前日までに診療所にお申し込みください。

7 接種方法

接種の際は予診票、母子健康手帳を持参してください。予診票は初回のみ送付します。2回目以降は診療所より配布を受けてください。

子宮頸がん予防ワクチンは任意接種です。子宮頸がん予防ワクチンについて十分ご理解のうえで接種をご検討ください。

予約先
更別村国民健康保険診療所
☎52 - 2301

1 接種対象者

村内に住所を有する中学1年生から中学3年生に相当する年齢(平成7年4月2日~平成10年4月1日生)の女子です。ただし、平成23年度以降は、中学1年生に相当する年齢の女子のみとなります。

2 助成対象期間

平成23年3月31日までです。ただし、平成22年度に限り、平成23年3月31日までに2回目の接種を終え、平成23年9月30日までに3回目の接種を行った場合は、3回目の接種も助成の対象といたします。

3 接種回数

十分な予防効果を得るには、初回、初回から1か月後、初回から6か月後の間隔で合計3回の接種が必要です。

4 接種時期の目安

平成23年3月31日までに3回の接種を完了するよう1回目を平成22年10月中に、2回目を平成22年11月中に、3回目を平成23年3月中に接種を受けるようお願いいたします。

平成22年度 総合健康診査のご案内

受付中です。

11月に村の総合健診が行われます。健診を受け疾病の予防・重病化を防ぎ健康で生活するために忘れずに受診してください。

総合健診では表の検査内容のとおり、基本健康診査に加えてオプション検査を受けることができます。

日 程
11月4日(木)、5日(金)、9日(火)
10日(水)、11日(木)、12日(金)

時 間
午前7時～午前11時

対 象 者
対象 事業所検診を受診されない30歳代の方
対象 国民健康保険に加入されている40歳から74歳の方
対象 診療所で行う「高齢者健康診査」の申し込みをしていない75歳以上の方
対象 上記の～に該当しないが、総合健診希望の40歳以上の方

検査内容と料金表

検査項目	個人負担額		
	対象	対象	対象
基本健康診査 計測(身長・体重・腹囲) 尿検査、問診、 血圧測定、血液検査、心電図検査、眼 底検査(基準該当者)	1,800円	700円	5,250円
肺がん検診 (胸部X線撮影・結核検診を含む)	300円	無料	300円
胃がん検診(胃バリウム検診)	1,300円	400円	1,300円
大腸がん検診 (便潜血反応2日法)	300円	100円	300円
前立腺がん検診 (血液検査 50歳以上の男性のみ)			800円
オプション検査 喀痰検査 (40歳以上で検査が必要と判断された方)			800円
B型肝炎検査			300円
C型肝炎検査 (40歳以上で過去に検査を受けたこと の無い方)			300円
骨粗しょう症検査			900円
エキノコックス症検査 (前回の検査から5年以上経った方、ま たは1度も受けたことの無い方)			400円

総合健診の申し込み・問い合わせ 役場保健福祉課(福祉の里総合センター内)保健担当 ☎53-3000

インフルエンザワクチン 予防接種のお知らせ



村国民健康保険診療所では、次のとおり新型インフルエンザA型とA香港型・B型の3種混合ワクチンの予防接種を実施します。

実施期間 10月15日(金)～平成23年1月7日(金)
毎週水・金曜日(午後診療時間内)
事前に国保診療所の診療時間内に
予約をお願いします。

実施場所 福祉の里総合センター集會室
接種料金・回数

区 分	接種料金 (1回あたり)	接種回数
13歳未満の方	1,000円	2回 (2回目接種は4週間後)
13歳以上 65歳未満の方	2,500円	1回
65歳以上の方	1,000円	1回

肺炎球菌ワクチン予防接種 のすすめ

診療所では、インフルエンザワクチンと併用して、高齢者の肺炎で最も多い原因であるといわれている肺炎球菌の感染を予防する肺炎球菌ワクチン予防接種を勧めています。

アメリカでは65歳以上の方で半数以上が併用接種しており、重要性が高く認識されています。心臓や呼吸器、肝臓などの疾病や糖尿病をお持ちの方などの接種をお勧めしますので、接種についてお気軽にご相談ください。

肺炎球菌ワクチン予防接種料
一般 6,000円
後期高齢者医療該当者 3,000円

予防接種の申し込み・問い合わせ 村国民健康保険診療所 ☎52-2301

ご厚意に感謝します。

8月11日

道路補修



東亜道路・東光舗道経常建設共同企業体が地域貢献にと、道路補修工事を行っていただきました。作業は東7号道路のほか4カ所で行われ、修復が必要場所(延べ180平方メートル)に新たな舗道を被せていただきました。ありがとうございました。

9月17日

寄付



村内にお勤めの小田 隆さんから、10万円の寄付をいただきました。寄付金は「循環型社会の形成に関する事業」(更別村協働のまちづくり事業)で有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

2010 国勢調査

調査票の記入は お済みですか？

9月下旬から調査員によって皆さんの自宅に配布された調査票の提出期日が過ぎていきます。まだ、回答がお済みでない場合や万一、調査票が届いていない場合は、役場住民生活課までご連絡ください。

国勢調査は、平成22年10月1日現在、日本に住んでいるすべての人と世帯が対象です。
記入いただいた調査票は、封筒に入れて封をした上で調査員に渡していただくか、そのまま郵送していただくか、ご希望の方法で提出してください。
調査票に記入していただいた内容は、統計の目的以外に使用することはありません。調査票は、外部にもれないように厳重に管理し、集計が完了した後に完全に溶かし、再生紙として生まれ変わります。

平成22年国勢調査は、我が国が本格的な人口減少社会となつて実施する最初の国勢調査で、日本の将来を考えるために欠くことのできない最新の人口・世帯の実態を明らかにする重要な調査です。
調査結果は、さまざまな法令で使われるほか、社会福祉、雇用対策、生活環境の整備など、私たちの暮らしのために役立てられます。
封筒に入れる前に、調査票に誤りがないか、確認をお願いします。

詳しくは **平成22年国勢調査** **検索**
キャンペーンサイト公開中!
<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/special/index.htm>

問い合わせ
役場住民生活課広報統計担当
☎52-2112



どんぐり保育園で恒例のどんぐりまつりが開催され、園に通う子どもたちや保護者、地域の人たちが大勢集まりました。

会場にはウォータースライダーや太鼓の体験コーナー、たくさんの飲食コーナーがあり、特にまつりのテーマである絵にちなんだ、はがきづくりや凧づくりコーナーでは、子どもたちが思い思いの絵の具を使い、色鮮やかな作品を作っていました。

会場では、この日のために作ったクッキーやアクセサリを子どもたちが店員になって販売し、いらっしやいませ〜！いかがですか〜！と可愛い声が飛び交い、大いに賑わっていました。

9/12

どんぐりまつりを開催！



地域の若者が主体となった実行委員会・高田直樹実行委員長が手作りでやっている上更別豊年踊りが、今年も上更別福祉館駐車場で開催されました。

会場では、村内から多くの人が集まり、地域の皆さんが腕を振るう食べ物コーナーでは香ばしい匂いに誘われ、行列ができていました。午後6時、こどもの部の踊りが始まりと保護者に連れられてきた子どもたちが、やぐらを中心にして太鼓の音色に合わせ元気よく踊り、引き続き大人の部が始まると豊作の秋を願う見事な踊りを披露していました。

9/1

豊作の秋を願



今年で第7回目を数える全日本オープンパークゴルフフィンさらべつ（同実行委員会 赤津寛一郎委員長）がブルムカントリーパークゴルフ場で開催されました。遠くは根室市や札幌市など道内各地、今年は岩手県からの参加もあり、男性193名、女性55名の合計248名と過去最高の人数で腕前を競いました。

開会式では赤津委員長や岡出村長が参加者に向けて歓迎の挨拶。大会は、全6コースの54ホールで行われ、男性は北見市から参加の福田臣男さんがスコア144で第5回大会に続き2回目の優勝。女性は本別町から参加の渡邊鈴恵さんがスコア156で初優勝を飾りました。

村社会福祉協議会が行う「いきいき健康クラブ」の利用者の皆さんが更別幼稚園を訪れ、園児との交流を行いました。会では同協議会の野々村和章さんが講師となり、新聞紙などを使って一緒に体操を行い、次に園児らに教わりながら、手を繋ぎ大きな輪となつて「青い鳥」というゲームを行いました。

最後に、プレゼント交換を行い、子供たちは色紙で作った花の首飾りを贈り、利用者の皆さんは手作りのコップを手渡すと園児らは声をそろえて「ありがとうございます」と感謝。利用者の皆さんに「また来てね」と名残惜しそうに別れを告げていました。



9/17 元気な姿が村の宝

村の発展の歴史を担い、今日を築きあげてきた75歳以上の皆さんを招いて敬老会が開催され、ふるさと館に213名の皆さんが集まりました。

「長年の地域発展への努力に感謝します。皆さんの元気な姿が村の宝です」と岡出村長が挨拶を述べ、今年喜寿を迎えられた28名、米寿を迎えられた7名に記念品が手渡されました。ステージ上では、木山幸則村議会長の祝辞に続き、今年から新たに敬老会に招かれた日光伸一さんが「ここに居られる諸先輩ともども、村づくりへの協力に思いを新たにしたい」と招待者代表の挨拶をされました。

9/24 健康クラブと園児が交流



9/2 上更別神社秋季祭典

上更別神社の秋季祭典が行われ、子供神輿会（藤澤典幸代表）が中心となって準備した3基の神輿や太鼓、団扇などを上更別幼稚園と上更別小学校の子どもたち41人が担ぎ、上更別市街を約1時間をかけて練り歩きました。

緊張した面持ちで神事を済ませた子どもたちは「ワッショイ！ワッショイ！」と神輿を担ぎ、元気良い掛け声と共に、家族の健康や、豊作の秋を祈り神社を出発。子どもたちが通う学校や商店、住宅街などぐるっと市街を一周。途中、沿道から声援が送られると、より一層掛け声が大きくなり空高くなった秋空に可愛らしい声が響いていました。

9/5 日本一を目指して



9/9

更別小学校で収穫祭

収穫の秋を迎え、更別小学校伝統の収穫祭が行われました。

収穫祭の準備のため1年生から5年生が、それぞれニンジンやトウモロコシ、ジャガイモなどを事前に収穫し、当日その野菜を使って6年生が2時間かけカレーライスを調理しました。

収穫祭では、春から学校農園を管理してもらっていた大田PTA会長や淵山PTA環境部長、部員のお父さんたちを招いて一緒に自分たちで育てた野菜を味わいました。児童たちは美味しいそうに食べ、おかわりの行列。鍋一杯に作ったカレーラスがあつという間に無くなつていました。



9/27

シャクヤク栽培に挑戦

村では、新たな特産品や観光資源にと、ふるさと館にある試験圃でシャクヤクの栽培を始めました。

シャクヤクの根は消炎や鎮痛の薬草として広く知られ、毎年20アールずつ植え付けていき、5年かけて合計1ヘクタールを栽培します。収穫までには5年かかり、大きくなった生根を道内にある業者に販売する予定です。

栽培管理は村社会福祉協議会に委託し、この日は高齢者勤労会のメンバー6人が苗の植え付けを行い、5センチメートル間隔に手作業で苗を植えていきました。今後根付いたシャクヤクに、追肥や除草などを行い管理し収穫を目指します。



お知らせ

トレーニングセンター 火曜日も開館します

11月から3月までの冬期間、農業者トレーニングセンターを火曜日も開館します。冬期間の体力の維持、向上にお役立てください。

ただし、村総合文化祭作品展覧会が行われる10月29日(金)から11月2日(火)の間はアリーナを使用することができません。

問い合わせ
教育委員会生涯学習担当
☎52 - 3171

戦後強制抑留者の方へ

シベリア戦後強制抑留者に対する特別給付金の請求受付が、平成22年10月25日(月)から始まります。

平成19年度から21年度に特別慰労品を受けられた方は、請求書を送付しますので受給手続きを行ってください。受けられていない方は、お電話で請求書の送付手続きを行ってください。

対象者
戦後抑留者で平成22年6月16日に日本国籍を有するご存命の方
受付期間
10月25日～平成24年3月31日
受付時間
平日の午前9時～午後6時
問い合わせ
独立行政法人平和記念事業特別基金
事業部特別給付金担当
☎(0570)059 - 204

労働者個人と使用者の間の 紛争を調整します

北海道労働委員会では、労働条件や労働問題に関して個々の労働者と使用者の間の紛争を、当事者双方の間に立ち、歩み寄りによる解決を手助けする「個別労使紛争のあっせん」を行って

ます。費用は掛からず、迅速に対応しますので、お気軽にご相談ください。このようなときはご利用を突然、会社から解雇通告されたが、理由に納得できない。残業しているにも関わらず時間外勤務手当が支払われない。職場でセクハラ・パワハラを受けており、会社に申し入れたが改善策を講じてくれない。

相談・問い合わせ
北海道労働委員会事務局
☎011 204 - 5667

スキー・スケートリサイクル品提供会を開催します

くりりんセンターでは、ごみとして搬入されたスキー・スケートの中から使えそうな物を搬入者の了解を得て次のとおり無料で提供します。

日時
11月7日(日) 午前9時～正午
場所
帯広市西24条北4丁目1番地5
くりりんセンター管理棟
その他
提供品が無くなり次第終了します。
1人一点とし、受領後は必ず専門のスポーツ用品店で点検整備を受けていただきます。
問い合わせ
十勝環境複合事務組合
くりりんセンター
☎37 - 3550

貸金業苦情相談専用 フリーダイヤルのお知らせ

北海道では、フリーダイヤルを設置し、専門の相談員が貸金業者を利用している方からの苦情相談を受け付けています。

電話番号
☎(0120)1 - 78372
受付日
毎週 月曜日、金曜日の2回
受付時間
午前10時～正午、午後1時～午後4時

受付内容
貸金業に関する苦情の申し立て、または相談。
問い合わせ
北海道庁環境生活部消費安全課
☎(011)231 - 4111

11月は労働保険の 適用促進強化月間です

労働保険は労災保険と雇用保険の総称で、労働者の生活の安定や福祉の増進などを図ることを目的に政府が管理している保険です。

農林水産業の一部を除き労働者を1人でも雇用する事業所では、法人・個人を問わず労働保険の加入が義務付けられています。

事業主の皆さん、労働保険の加入はお済みでしょうか。保険に加入し安心して働ける職場をつくりましょう。

問い合わせ
北海道労働局総務部労働保険適用室
☎(011)709 - 2311

「どんちゃん」マークが 目印です！

巡回や災害時などで、村民の皆さんが一目で認識できるようにと村の公用車7台に、どんちゃんマークと役場ホームページアドレスのカッティングシートが取り付けられました。

問い合わせ
役場建設水道課車両管理担当
☎52 - 5200



自動車点検整備推進運動 を実施しています

北海道運輸局では「しっかり、点検。うまれる、安心。」～点検・整備は、安全とエコにつながります。～をキャッチコピーに9月から10月の2カ月間にわたり自動車点検整備推進運動を実施

しています。車両の安全確保・環境保全を図ることで、毎日の生活で安全・安心の確保を確実にするために定期的な点検を行ってください。

問い合わせ
北海道運輸局帯広運輸支局
☎33 - 3286

情報公開・個人情報保護 総合案内所について

総務省の情報公開・個人情報保護総合案内所では、行政機関、独立行政法人、特殊法人の情報公開、個人情報保護の制度の仕組みや開示請求手続き、請求窓口の情報提供など制度全般にわたる総合的な案内業務を行っています。

疑問・質問例
情報公開法や個人情報保護法とはどのような内容の法律か知りたい。行政文書の開示請求を行う方法、手数料を知りたい。

町内会の名簿を作成する場合、個人情報保護法に基づく個人情報の取り扱い方法をしりたい。
このような疑問・質問がありましたらお気軽にご連絡ください。

受付日
月曜日～金曜日の平日
受付時間
午前8時30分～午後5時15分
問い合わせ
釧路港湾合同庁舎3階
総務省釧路行政評価分室内
☎(0154)32 - 0987

交通事故死ストップ 十勝百日作戦を展開中

例年9月から11月までの3カ月間は交通量が増え、重大事故が多発する傾向にあります。十勝支庁と管内市町村、警察署などの関係機関では11月30日までの期間、交通事故死ストップ十勝百日作戦を実施しています。日頃から交通ルールを守り、悲惨な交通事故を防ぎましょう。

10月の重点目標
輸送繁忙期の交通事故防止

高齢者の交通事故防止
スピードの出し過ぎと無謀運転の防止
すべての座席のシートベルト、チャイルドシートの正しい着用の徹底

募集

道立帯広高等技術専門学院 平成23年度学生募集

地域に貢献できる創造性豊かで活力のある技術者・技能者を養成するため、北海道立帯広高等技術専門学院では平成23年度入学生を募集します。

募集科目
電気工学科 / 金属加工科 / 自動車整備科 / 建築技術科 / 造形デザイン科
訓練期間
平成23年4月～平成25年3月
受験資格
高等学校卒業以上の方(見込み含む)
定員 各科目20名
受付期間
11月1日～11月20日
学院に持参の場合
午前8時30分～午後5時15分
(土・日、祝日を除く)
選考試験日・内容
12月6日(月)
学力試験(国語、数学) 面接試験
申し込み・問い合わせ
北海道立帯広高等技術専門学院
〒080 - 2464
帯広市西24条北2丁目18 - 1
☎37 - 2319
☎37 - 2727

自衛官を募集します

自衛隊帯広募集案内所では次のとおり自衛官を募集します。
募集種目
陸上自衛隊高等工科学校生徒
募集資格
平成23年4月1日現在で15歳以上17歳未満の方

受付期間
11月1日～平成23年1月7日
試験日
平成23年1月22日(土)
入隊時期
平成23年4月上旬予定
問い合わせ
自衛隊帯広募集案内所 ☎23 - 8718
<http://www.mod.go.jp/pco/obihiro/>

国民年金

国民年金保険料をクレジット カードでお支払い

国民年金保険料を納めやすくするために、平成20年3月分よりクレジットカードによる支払いができるようになりました。ご希望の場合は「国民年金保険料クレジットカード納付(変更)申出書」を年金事務所へ提出してください。お支払いいただける保険料は「定額保険料」「付加保険料込みの定額保険料」です。過去の未払い分と保険料の一部を免除されている場合はご利用いただけません。また、クレジットカードでの毎月払い(毎月の保険料を当月末に立替)には割引はありません。一年前納や半年前納の割引額は、現金で納付する場合と同様です。

カード会社へのお支払い回数は1回払いのみとなりますのでご注意ください。詳しくはお問い合わせください。
問い合わせ
帯広年金事務所 ☎25 - 8113

税

村・道民税第3期、国民健康保険税 第4期納期限は11月1日(月)

納税には便利で確実な口座振替をご利用ください。
問い合わせ
役場住民生活課住民税担当
☎52 - 2112

『秋の読書週間』 10月27日(水)～11月9日(日)

『気がつけば、もう降りる駅』 第64回読書週間標語

終戦まもない昭和22年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。

そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日(文化の日を中心とした2週間)と定められ、この運動は全国に広がっていきました。

そして『読書週間』は、日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」となりました。

いま、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは大きく変わろうとしています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、その本来の人間性を育てかたちづくるのに「本」が重要な役割を果たすことは変わりありません。

暮らしのスタイルに、人生設計の中に、新しい感覚での「本とのつきあい方」を取り入れていきませんか？

読書週間マークの由来

その昔、ギリシャ神話の世界で「ふくろう」は、学問・技芸・知恵を司る美貌の女神アテナの使者であり、また、代表的なポリスで文化の中心地アテナイ(アテネ)の聖鳥でもありました。古代のギリシャ人たちは、賢そうな丸い目に大きなメガネをかけた、すまし顔の「ふくろう」を知恵の象徴として大切にしたいとします。

森の奥深く、静かに瞑想にふけるこの「ふくろう」の姿こそ、読書週間のシンボルマークとしてももっともふさわしいものと考え、読書推進運動協議会では長い間使用してきました。



国際交流事業 ハロウィンのお化け屋敷

日 時

10月29日(金)

【幼児】午後1時30分～午後2時30分

【小学生】午後3時～午後5時

場 所

農村環境改善センター 視聴覚室

参加対象

村内にお住まいの幼児・小学生

参加料

お1人につき100円

定 員

幼児30名・小学生50名

問い合わせ 教育委員会事務局生涯学習推進担当 ☎52 - 3171

農村環境改善センター 今月の図書室 おすすめ本

3Dの時代 渡辺昌宏・深野暁雄 / 著



3Dが私たちの社会を大きく変えようとしています。3Dとは何なのか？そしてその影響力と可能性を解説しています。

92歳小さなしあわせを集めて生きる 吉沢久子 / 著



元気に長生きを楽しむヒントや感性をみずみずしく保つ秘訣が、優しい著者の人柄をにじませて美しい言葉で書かれました。

愛する海 船長50年の航海記 石田貞夫 / 著



『海にはたくさんの夢がある。50年もの年月を海一筋で生きてきた日本の海男、キャプテン石田が綴る航海記です。』

合言葉は「トリック・オア・トリート」お菓子をくれないと、いたずらしちゃうよ！

10月28日 行政相談所を開設

「医療、保険、年金について」「道路について」「福祉について」「宅地、建物について」など、行政が行う仕事についての相談はありますか？



行政相談委員 高畑 昭子さん (錦町)

日 時 10月28日(木) 午後2時～午後4時
場 所 社会福祉センター 応接室
相談担当者 高畑相談委員宅 ☎52・2701
行政苦情110番 ☎0570・090110
問い合わせ 役場住民生活課住民生活担当 ☎52・2112

相談日以外でも相談を相談所開設日以外でも相談を受け付けています。 行政苦情110番 高畑相談委員宅 ☎52・2701 問い合わせ 役場住民生活課住民生活担当 ☎52・2112

農業経営主の皆さんへ

「経営移譲」をお考えの経営主の方は、お早めに農業委員会へご相談を！

農業経営を後継者や第三者へ移譲するためには、農地を処分しなければなりません。農地の処分には農地法の許可や借入れをしている農地の解約などが必要になります。

また、65歳に達する日前までに経営移譲を行わなければ、経営移譲

讓年金(農業者年金)の受給対象になりません。 来月1月から新たに経営主になる方が所得や税の申告をするとき、手続きが円滑に行えますので、移譲をお考えの方は農業委員会までお早めに「ご相談ください。」

問い合わせ 農業委員会 ☎52 - 2116

更別農業高校

『ジャガイモ教室を終えて』



農業科2年 作物分会一同 今年もまた、農業科2年生が更別幼稚園の園児たちを対象に、ジャガイモ教室を行いました。今年も例年と同様に、5月中旬に種いもを植え付け、9月に収穫を行いました。

植え付けでは、同校作物分会の小倉忠之君の司会のもと、青柳園長、山田校長にご挨拶をいただき、作業の説明を作物分会班長の山口裕太君が行いました。その後、高校生と幼稚園児がそれぞれ手をつないでジャガイモ畑まで行き、幼稚園児たち

と仲良く種いもを植え付けました。 収穫では、作物分会の佐々木雅之君の司会のもと、山口裕太君が作業の説明を行い、植え付けの時と同じように、幼稚園児たちと手をつないで畑まで移動しました。その後、幼稚園児たちと一緒にジャガイモを収穫しました。今年は天候が不順だったせいもあり、小ぶりのイモが目立ちましたが、それでも園児たちの持つてきた袋に大きなイモをいれると園児たちはとても喜んでくれました。植え付けの時は、天候が悪く気温が低かったため、園児たちは植え付けた後、すぐに帰ることになりましたが、収穫の日も天候も良く、気温も高かったため、収穫のあとは、皆で芝生の上で休憩しました。普段、幼稚園児たちと話す機会はめったにありませんが、幼稚園児たちは元気で、とても楽しんでくれて良かったです。また高校生もしっかりとやり遂げることができて良かったと思います。今回の教室は私たち高校生にとっても良い勉強となりました。

戸籍の窓口

希望者のみ掲載

誕生おめでとう

やま うち せ な
山 内 聖 椰ちゃん
— 博・央 子(中 央 町)
保護者敬称略

お悔やみ申し上げます

淵 山 キ ヨさん 78歳
(南更別区)
和 田 節 子さん 75歳
(柏 町)

人のうごき

人 口
3,474人(-5人)【内外国人36人】
男1,716人(-2人) 【内外国人17人】
女1,758人(-3人) 【内外国人19人】
世帯数
1,272世帯(-3) 【内外国人16世帯】
9月30日現在。()内は前月末比。

地域安全ニュース

更別村の交通死亡事故死ゼロ記録
425日(9月30日現在)
9月の村内交通事故件数
5件(人身0件 物損5件)
【今年1月からの計79件】
9月の村内犯罪発生件数
2件
【今年1月からの計5件】



よしだ
吉田 一 翔くん
平成21年10月2日生
北更別区

家族皆に遊んでもらいながら笑顔を絶やさない日々を過ごしています。少し聞きなれない名前ですが、文字どおり何か一番を目指して活発な子に成長してほしいです。

昭一・梢枝



赤い羽根共同募金

10月1日~12月31日

<http://www.akaihane.or.jp/>

赤い羽根共同募金のご理解、ご協力ありがとうございます。

皆さまからいただいた募金は、地域のさまざまな福祉活動やボランティア活動の普及と振興のために、また、ハンディキャップをお持ちの方々の社会自立の支援などに役立てられます。

今年も皆さまのご協力をお願いします。

11月12日

移動献血車ひまわり号がやってきます！

移動献血車による献血が行われます。病気やけがなどで輸血を必要としている患者さんのため献血にご協力ください。

場 所 役場前駐車場
日 時 11月12日(金)
午後1時30分~午後4時
問い合わせ 役場住民生活課住民生活担当

☎52-2112



こうほう



平成22年10月12日発行(No.577)

更別村役場 住民生活課

〒089-1595 北海道河西郡更別村

字更別南1線93番地

☎0155(52)2111(代表) ☎0155(52)2812

ホームページ <http://www.sarabetsu.jp/>

Eメール(代表) village-ffice@sarabetsu.jp

(村長) seiji-okade@sarabetsu.jp



本格的な輸送繁忙期を迎え、悲惨な交通事故が起きないようにと、9月22日に運動広場前の国道で「旗の波作戦」を行い、車輛を扱う村内の事業所や地域の団体、交通安全に取り組む村地域安全・コミュニケーション村民会議などからおよそ50名が参加し、安全運転を訴えました。
交通事故ゼロを願う岡出村長と若園則明村民会議長の挨拶に続き、集まった皆さんはドライバーに旗をふり、約1時間にわたってアピールしました。

表紙の風景